

# 国内 TV 会議／Web 会議システム市場に関する調査結果 2010

－急成長の Web 会議、ASP 型は 2005～2014 年度の 10 年間で約 27 倍に－

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて TV 会議／Web 会議システム市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2010年4月～8月
2. 調査対象：国内・海外の主要 TV 会議／Web 会議システムメーカー
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談及び、電話・e-mail 等によるヒアリングを併用

### ＜本調査における会議システムとは＞

本調査では、（1）ルーム型 TV 会議システム、（2）SI 型 Web 会議システム、（3）ASP 型 Web 会議システムの3種類を調査した。

## 【調査結果サマリー】

### ◆不況下でも堅実に伸びる TV 会議、110%弱の成長維持で 2014 年度に 192 億円市場へ

2010年度の国内 TV 会議システム市場は、不況下でも問い合わせ件数が増えている。要因としては新規需要のほか、追加需要や更新需要が増えていることがある。今後も出荷金額は前年度比 110%弱で堅実に成長を続けていき、2014年度には 192 億円に到達すると予測する。

### ◆急成長の Web 会議、ASP 型は 10 年で約 27 倍の市場規模に

Web 会議システム国内市場は 2014 年度に向けて急成長を続けている。2005年度の 25.3 億円が、2014年度で 123.9 億円となり約 5 倍に成長する。特に ASP 型の市場規模は 2005年度の 2.8 億円から 2014年度には 76.4 億円となり、10年間で約 27 倍の市場規模に到達すると予測する。

### ◆ 資料体裁

資料名：「2010～11年版 AR(拡張現実)/TV・Web 会議システム市場  
－ビジュアル・コミュニケーション調査 Vol.2－」

発刊日：2010年9月6日

体裁：A4判 314頁

定価：157,500円（本体価格：150,000円、消費税等：7,500円）

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝

設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL：<http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>)

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報宣伝グループ TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報宣伝グループ迄お問合せ下さい。

## 【調査結果の概要】

### 1. TV 会議システム国内市場の動向

- ・ 2009年度の国内TV会議システム市場は、リーマンショックに伴うコスト削減、パンデミック対策での海外出張削減などの理由により需要が喚起された。2010年当初には2009年の影響で、「需要が先食いされたのでは」と心配する向きもあったが、実際には2010年に入っても問い合わせ件数は増え続けている。そのため、これらの影響で、「需要が先食いされた」というイメージを参入企業は持っていない。また「不況下でも需要が増えている」という声も多くみられ、新規需要のほか、追加需要や更新需要が増えている。
- ・ 現状、多くの大企業は既に何台かのTV会議システムを導入している。これに加えて、これまで東京や大阪といった主要拠点のみでの採用だったTV会議システムを社内全体で導入するようになっている。
- ・ 大企業には既に導入済みであるため、新規需要は中小企業がメインとなる。ただし中小企業の場合は1案件2~3台の導入であるため、件数が増えても出荷台数はさほど多くならない。従って爆発的な成長というよりは、堅実な成長ぶりを示している。
- ・ TV会議システムは国土面積が広い北米では需要度が高く、将来的にはユーザ企業が自社内・自社系列内だけで使用するシステムではなく、日常的な営業活動や取引先などの打合せにも活用するシステムへと需要が拡大していくと予測する。やがてはその動きは日本にも伝わる可能性もあり、さらなる市場成長に期待がかかる。
- ・ また、HD対応端末が出始めたこともあり、HD導入に伴う更新需要も増えている。

### 2. Web 会議システム国内市場の動向

#### (1) SI型とASP型

- ・ Web会議システムはSI型とASP型の二つに分類される。
- ・ SI型では、サーバライセンスと、サーバ機器やサーバ機器へのソフトウェアインストールなどを含め、Web会議システムを自社内で運用するためのライセンスパッケージを提供する。
- ・ ASP型は、ユーザ企業にシステムを導入することなく、インターネット経由でWeb会議システムを利用するタイプである。

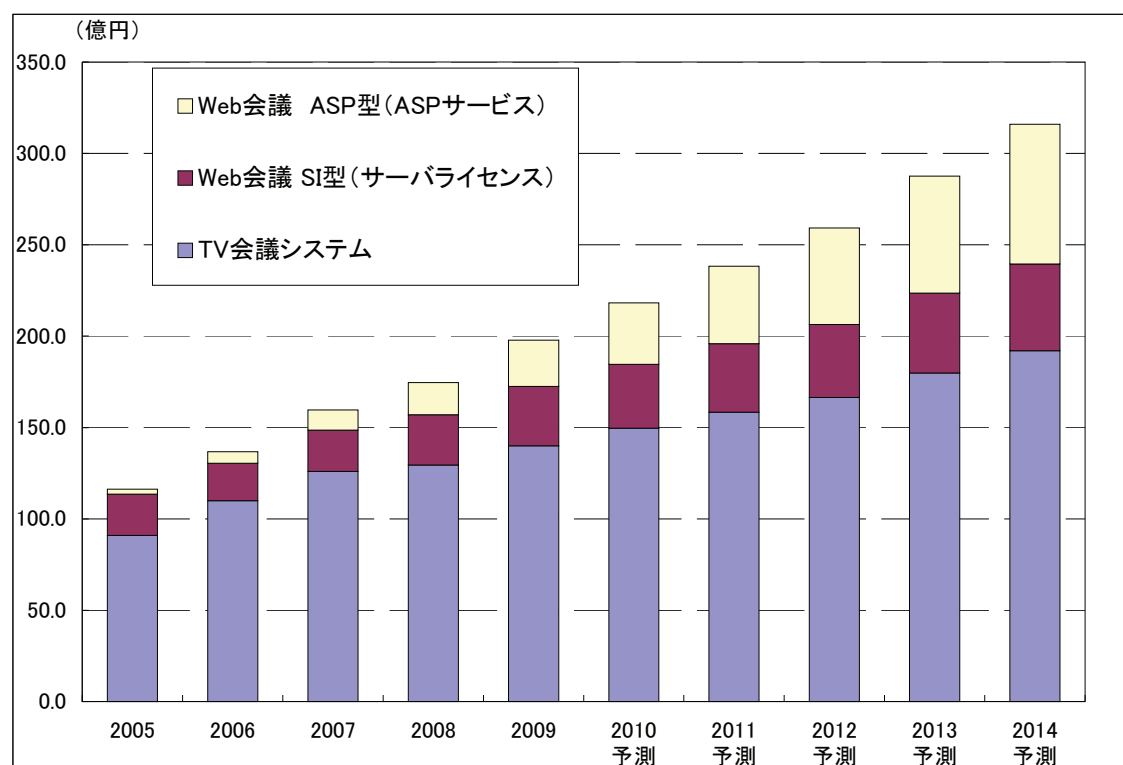
#### (2) Web 会議システム国内市場分析

- ・ リーマンショックにより、一時期投資は若干止まったが、2009年度トータルではあまり影響はなかったとみられる。Web会議システムは今後もSI型、ASP型共に、市場は成長し続ける見通しである。
- ・ Web会議システムの市場は急成長している一方で、製品間・企業間での競合が激化している。主要な機能は、どのメーカーのシステムにも搭載されており、若干の差がつく程度である。そのため、セールストークやプレゼン時のデモの印象で導入が決まってしまうケースもあるという。Web会議システムでは価格差や製品の良し悪しを含め、ユーザの選択に対し、絶対的な物差しがなくなっている。

図表「TV会議／Web会議システム出荷金額推移（国内市場，2005～14年度，億円）」

(単位:億円)

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010 予測	2011 予測	2012 予測	2013 予測	2014 予測
TV会議システム出荷金額	91.0	109.9	126.0	129.5	140.0	149.6	158.4	166.4	179.8	192.0
Web会議SI型 サーバライセンス出荷金額	22.5	20.5	22.5	27.5	32.5	35.0	37.5	40.0	43.8	47.5
Web会議ASP型 ASPサービス同年度契約金額	2.8	6.4	11.2	17.6	25.4	33.6	42.4	52.8	64.0	76.4



矢野経済研究所推計

注1：TV会議システム、Web会議SI型は出荷金額ベース

注2：Web会議ASP型は契約金額ベース

注3：Web会議SI型の出荷金額にはハードは含まない。

注4：予測は予測値

### 3. 会議システム3種類の国内市場推移における比較分析

- ・ 下記の表は、TV会議システム端末出荷金額（A）、Web会議システムSI型サーバライセンス出荷金額（B）、Web会議システムASP型サービス年間契約金額（C）の2005年度～2014年度までの推移をまとめたものである。
- ・ またA、B、Cそれぞれが会議システム3種類合計（A+B+C）に占める比率の推移を示したものである。

表.会議システムの出荷金額推移

(単位:億円)										
年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010 予測	2011 予測	2012 予測	2013 予測	2014 予測
TV会議システム 出荷金額(A)	91.0	109.9	126.0	129.5	140.0	149.6	158.4	166.4	179.8	192.0
前年度比	—	120.8%	114.6%	102.8%	108.1%	106.9%	105.9%	105.1%	108.1%	106.8%
Web会議SI型 サーバライセンス 出荷金額(B)	22.5	20.5	22.5	27.5	32.5	35.0	37.5	40.0	43.8	47.5
前年度比	—	91.1%	109.8%	122.2%	118.2%	107.7%	107.1%	106.7%	109.4%	108.6%
Web会議ASP型 ASPサービス 同年度契約金額(C)	2.8	6.4	11.2	17.6	25.4	33.6	42.4	52.8	64.0	76.4
前年度比	—	228.6%	175.0%	157.1%	144.3%	132.3%	126.2%	124.5%	121.2%	119.4%
A/(A+B+C)	78.2%	80.3%	78.9%	74.2%	70.7%	68.6%	66.5%	64.2%	62.5%	60.8%
B/(A+B+C)	19.3%	15.0%	14.1%	15.8%	16.4%	16.0%	15.7%	15.4%	15.2%	15.0%
C/(A+B+C)	2.4%	4.7%	7.0%	10.1%	12.8%	15.4%	17.8%	20.4%	22.3%	24.2%

(矢野経済研究所推計)

注5：TV会議システム、Web会議SI型は出荷金額ベース

注6：Web会議ASP型は契約金額ベース

注7：Web会議SI型の出荷金額にはハードは含まない。

注8：予測は予測値

- ・ 上記表を分析する事により、①～③の傾向が明確になった。
  - ① SI型とASP型を合わせたWeb会議システム全体（B+C）としては、2005年度に会議システム全体（A+B+C）の21.7%（19.3%+2.4%=21.7%）に過ぎなかったが、2014年度には39.2%（15.0%+24.2%=39.2%）となり、Web会議システムの占める比率が増加すると予測する。また金額ベースでも、2005年度の25.3億円（22.5億円+2.8億円=25.3億円）が、2014年度で123.9億円（47.5億円+76.4億円=123.9億円）となり約5倍に成長すると予測する。
  - ② Web会議システムASP型（C）の金額ベース動向は2005年度の2.8億円から2014年度には76.4億円となり、10年間で約27倍の市場規模に急成長すると予測する。
  - ③ TV会議システム（A）の会議システム全体（A+B+C）における比率は2005年度の78.2%から2014年度には60.8%となり減少しているが、出荷金額自体は前年度比110%弱で成長を続けており、2014年度には192.0億円とWeb会議システムと比較してもまだ大きな存在であり続けるとみる。